

二村 純生（ふたむら すみお）

二村純生は、生き物を主なモチーフとした作品で知られる豊田小原和紙工芸作家。名古屋造形芸術短期大学を卒業後、豊田小原和紙工芸作家山内一生氏に師事。

二村は、和紙で器などの立体を作る伝統的な技法「一閑張（いっかんばり）」に、和紙のすき込み技法を組み合わせた独自の立体表現を確立した。この手法によって生み出される作品は生命感にあふれ、作品世界を巡ってみたいくなる魅力を放っている。豊田小原和紙工芸に新たな道を開き、和紙による表現の幅を大きく広げている作家である。

- 1966 愛知県豊田市（旧小原村）生まれ
- 1987 名古屋造形短期大学卒業
- 1988 第5回東急ハンズ大賞 入賞
- 1991 名古屋造形短期大学 インターメディア助手
- 1992 豊田小原和紙工芸作家 山内一生氏に師事
- 2005 第37回日展 初入選
- 2006 第16回日工会展 日工会賞
- 2010 碧南海浜水族館「漂う」寄贈
- 2012 第一学習社 古典教科書表紙 作品掲載
- 2015 「メイド・イン・愛知 工芸の架け橋」古川美術館（名古屋市）
- 2016 伊勢志摩サミット作品展示
中部国際空港 Press ゲート作品展示
- 2020 「愛知の工芸 2020」古川美術館（名古屋市）



作品「漂う」（2012）